



文字の入力法

— 2001年度版 —

1年1組

福岡工業大学
情報工学部 情報工学科

柴田望洋

BohYoh Shibata

Fukuoka Institute of Technology

本資料について

- ◆ 本資料は、2000年度・福岡工業大学 情報工学部 情報工学科 1年生の講義である

『情報基礎ゼミナール』

の補助テキストとして、福岡工業大学 情報工学部 情報工学科 柴田望洋が編んだものである。

- ◆ 参考文献・引用文献等は、資料の最後にまとめて示す。

- ◆ 諸君が本資料をファイルに綴じやすいように、研究室の学生達（卒研究生と大学院生）が時間を割いて、わざわざ穴を開けるという作業を行っている（一度のパンチで開けることのできる枚数は限られており、気の遠くなるような時間がかかっている）。

必ずB5のバインダーを用意して、きちんと綴じていただきたい。

- ◆ 本資料のプログラムを含むすべての内容は、著作権法上の保護を受けており、著作権者である柴田望洋の許諾を得ることなく、無断で複写・複製をすることは禁じられている。

本資料は、Microsoft社のワープロソフトウェアであるMicrosoft Word 2000を用いて作成した。

はじめに

ワープロによる文書作成、プレゼンテーションのための資料作成、プログラミングなどを始めとして、現在コンピュータのキーボードを打たずして仕事をするとはなくなりつつあるのが現状です。

キーボードのタイピングが速ければ、それらの作業に要する時間も短くなりわけですから、人生における、よりよい時間の使い方ができるかもしれません。

本大学・情報処理センターのパソコン室・端末室では、Microsoft Windows 95、Microsoft Windows 98、UNIX などの OS = オペレーティングシステムがインストールされており、諸君は、それらを利用することになります。

コンピュータの機種によって、キーボードが異なるだけでなく、それぞれの OS や、その上で動作しているソフトウェアなどによって、欧文文字や漢字などを入力する方法も微妙に異なります。

本資料では、キーボードタイピングの基本や、快適に文字を入力するための操作法を簡単に解説します。

指使い／ホームポジション

各キーを打つ指は、原則として、以下の図の通りとします。



原則として、各指は下から二段目で待機する。このとき、左人差し指は **F** キー、右人差し指は **J** キー上におきます（これをホームポジションと呼びます）。

- ※ そのため、**F** および **J** キーは、触覚だけで識別できるように、キートップの彫りを深くする、あるいは小さな突起を付ける、などの工夫が行われています。
- ※ 記号キーなどは、キーボードによって配列が異なります。

大文字の入力

通常、キーを押したときは、アルファベットの小文字で入力されます。大文字で入力するには、**Shift** キーを押しながら、目的のキーを押します。

- ※ たとえば、大文字の S を入力するには、右手の小指で **Shift** キーを押しながら、左手の薬指で **S** キーを押す。

なお、**Shift** キーを押しながら **Caps Lock** キーを押すと、大文字の入力モードになります。そうすると、**Shift** キーを押さずとも大文字での入力となり、逆に小文字を入力するときに **Shift** キーを押さなければなりません。大文字の入力モードを解除するためには、再び **Caps Lock** キーを押します（トグルスイッチのようになっている）。

- ※ 数文字程度の大文字を入力するのではなく、わざわざ **Caps Lock** の機能を使うまでもありませんね。連続して大文字を入力する場合に利用しましょう。

■■ タイプ練習 (1) ■■

(必ず正しい指使いで行うこと!! リズミカルに!!)

```
asdfasdfasdfasdf jkl;jkl;jkl;jkl;  
qwerqwerqwerqwer uiopuiopuiopuiop  
zxcvzxcvzxcvzxcv m,./m,./m,./m,./  
cd cd cd cd fd fd fd fd  
asa asa asa asa fx fx fx fx  
io io io io hi hi hi hi  
kui kui kui kui pon pon pon pon  
am am am am pc pc pc pc  
fbi fbi fbi fbi cia cia cia cia  
fit fit fit fit mit mit mit mit  
att att att att ntt ntt ntt ntt  
abc abc abc abc xyz xyz xyz xyz  
kdd kdd kdd kdd ddi ddi ddi ddi  
kgb kgb kgb kgb key key key key  
jap jap jap jap jpn jpn jpn jpn
```

記号文字の読み方

プログラミングをはじめとしてコンピュータの活用においては、いろいろな記号文字を駆使することになります。読み方を覚えておきましょう (俗称なども含みます)。

- ! 感嘆符、エクスクラメーション、びっくりマーク、びっくり、ノット
- マイナス符号、負符号、ハイフン、マイナス、ひく
- + プラス符号、正符号、プラス、たす
- * アスタリスク、アスタリスク、アスター、かけ、こめ、ほし
- / スラッシュ、スラ、わる
- \ 逆斜線、バックスラッシュ、バック ※JIS コードでは¥
- ¥ 円記号、円、円マーク
- % パーセント
- . ピリオド、小数点文字、ドット、てん
- , コンマ、カンマ
- : コロン、ダブルドット
- ; セミコロン
- ' 一重引用符、引用符、シングルクォーテーション
- " 二重引用符、ダブルクォーテーション
- (左括弧、左丸括弧、左小括弧、パーレン
-) 右括弧、右丸括弧、右小括弧
- { 左波括弧、左中括弧、ブレイス
- } 右波括弧、右中括弧
- [左角括弧、左大括弧、ブラケット
-] 右角括弧、右大括弧
- < 小なり
- > 大なり
- & アンド、アンパサンド
- ~ チルダ、なみ、による ※JIS コードでは- (オーバーライン)
- ? 疑問符、はてな、クエッション、クエスチョン
- ^ アクサンシルコンフレックス、ハット
- # シャープ、ナンバー
- _ 下線、アンダーライン、アンダーバー、アンダースコア
- = 等号、イクオール
- | 縦線

全角文字と半角文字

私たちがコンピュータ上で利用する文字には、**全角文字**と**半角文字**とがあります。

全角文字 … ひらかたしばた漢字 A B C

半角文字 … シバタ ABC

通常コンピュータの内部では、全角文字は 16 ビットで、半角文字は 8 ビットで表現されます。

したがって、全角文字の“A”と、半角文字の“A”は、内部的に、まったく異なる文字なのである。

※ 半角文字には、濁音半濁音の仮名文字が存在しません。したがって、全角文字では 1 文字で表すことのできる“か”や“ば”は、半角文字では“か”、“バ”と 2 文字となることに注意しましょう。

また、UNIX では半角のカナは利用できませんから、電子メールや Web ページなどに半角の仮名文字を利用してはいけません。自分には読めても、他の人が読めなくなります。必ず覚えておきましょう。

現在のように GUI (*graphical user interface*) が流行る前は、全角文字の横幅は、半角文字の 2 倍の幅でしたから、全角と半角は一目で区別がついていました (現在でも、大部分のテキストエディタなどは、そのような設定となっている)。

※ そもそも、“全角文字”は、縦横比が 1 対 1 であり、半角文字は、横幅が半分である、ということに名前が由来しています。

全角文字 1 2 3 4 5

半角文字 1234567890

しかし、多彩なフォントが利用できる現在は、文字の横幅だけでは見分けがつかないのに注意しましょう。

一般に、英単語などには半角文字を使うのが原則です。いくつかのフォントで見比べてみます。

- | | | |
|-----|------------------|-----------------------|
| (a) | Operating system | (全角「MS 明朝」) |
| (b) | Operating System | (半角「Times New Roman」) |
| (c) | Operating System | (半角「Courier New」) |

全角文字で英単語を書くと、文字間が間延びして、読みにくくなってしまふことが分かりますね。

(a), (c) は等幅フォント (すべての文字の横幅が等しい)、(b) はプロポーションアルフォント (文字によって横幅が異なる) です。

IME の起動／終了

【Windows】

MS-Windows 上では、仮名や漢字などの全角文字を入力するためには、まず IME (*input method editor*) を起動します。

IME の起動／終了は、以下のキーボード操作によって行います。

Alt+**半角／全角**

IME の起動／終了。

※ ワードプロ Word を起動すると、IME も自動的に起動します。

IME の種類

【Windows】

いろいろな IME が各社から提供されている。現在、どの IME が起動しているかは、表示されるパレットで区別できます (通常、パレットはデスクトップ画面の右下側に表示されます)。代表的なものを以下に示します。

■ Microsoft 社 MS-IME97



■ Microsoft 社 MS-IME98／MS-IME 2000



■ ジャストシステム社 ATOK11



IME の切替え

【Windows】

Windows のシステム上に複数の IME が登録されているとき、他の IME へ簡単に切り替えることができます。IME が起動している状態で、以下のキーボード操作を行います。

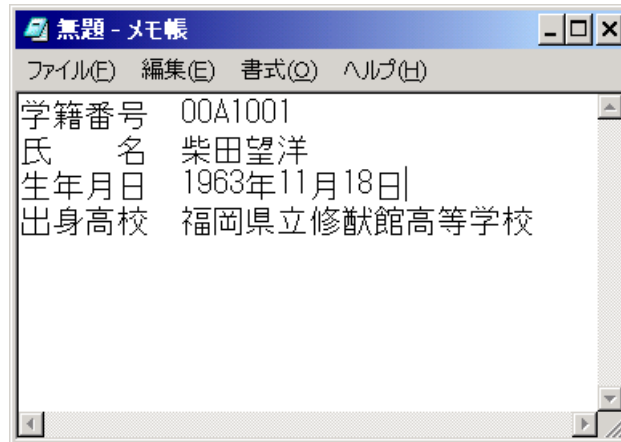
Shift+**Alt**

IME を切り替える。

■ 課題 ■

MS-Windows のアクセサリである『メモ帳』で以下の文章を打ち込んで、フロッピーディスクに保存しましょう。

学籍番号および生年月日内の数字は半角文字で入力すること。



仮名入力の ON/OFF

【Windows】

日本語は、片仮名・平仮名・漢字などが競演かつ共演する美しい言語です。日本語を入力するのに、ローマ字漢字変換を利用するのは外道(?)であり、仮名漢字変換を利用するのが本来の正統的なやり方であると考えられます(思考によって生み出された文書が指に送られるまでの過程において、仮名漢字変換のほうが、より潜在的な意識領域を通過することは明白です)。

もちろん、私も仮名漢字変換を好んで利用します。

ワ タ シ

と打てば、キーボードを打つのは3ストロークですが、

W a t a s i

では、6ストロークとなり、キーボードを打つ回数は2倍になります(ただし、打つべきキーの範囲が若干広がります)。

私がこれまで執筆した膨大な量の著書や、みなさんに配っている大量のプリントも、仮名漢字変換ができるからこそのものであります。

ローマ字漢字変換しかできない者は、日本語入力の素人である、と私は個人的には考えています。

さて、現在、仮名を入力するモードとなっているか、英字を入力するモードとなっているかは、IMEのパレットを見れば判断できるようになっています。

通常、仮名入力モードのON/OFFは、以下のキーボード操作によって行います。

Ctrl+**英数** 仮名入力モードをON/OFF。

ただし、WindowsやIMEの設定によっては、以下のように操作しなければならないこともあるので注意しましょう。

カタカナ 仮名入力モードにする。
英数 仮名入力モードを解除する。

※ MS-IME98/2000では、パレット上の**KANA**と書かれた部分を、マウスで左クリックすることによっても、仮名入力モードのON/OFFを行うことができます。

インターネットでのタイピング練習

e-typing というタイピング練習サイトがあります。URL は、<http://www.e-typing.ne.jp> です。
このサイトで《メンバー登録》をして、練習をしてみましょう。

※ 練習履歴確認やランキング表示などが可能です。

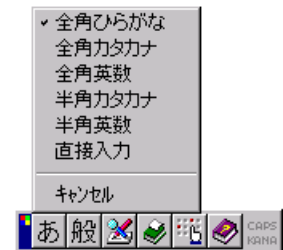
The screenshot shows the e-typing website interface. At the top, there's a navigation bar with 'HOME' and the URL 'www.e-typing.ne.jp'. Below that, there's a 'メンバー登録' (Member Registration) section with fields for 'メールアドレス' (Email Address) and 'パスワード' (Password), and a 'ログイン' (Login) button. To the right, there's a 'まずやってみよう!' (Let's try it first!) section with a '腕だめし レベルチェック' (Hand Test Level Check) button. Below that, there's a 'what's up!' section with several news items, including one about a magazine ranking and another about a contest. At the bottom, there's a 'Quick Q' section with a question about fan voting and a list of answers: 1. イチロー, 2. ハチロー, 3. チチロー.

入力モードの切替え

【Windows】

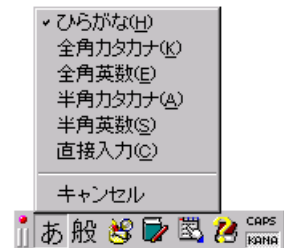
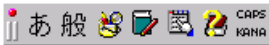
これから入力する文字のモード（全角・半角／ひらがな・カタカナ・英数）を切り替えるには、IME パレットの左端のアイコンをクリックします。

■ Microsoft 社 MS-IME97

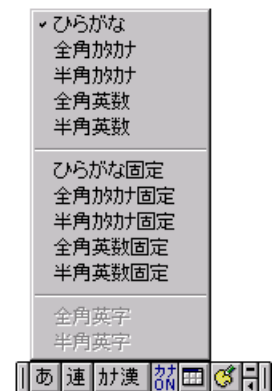


“直接入力”モードを選択すると、入力された文字は、IME を素通りして、アプリケーション（Word などのソフトウェア）に直接送られることとなります。したがって、英数字などの半角文字を連続してタイプする必要があるときは、このモードにすると便利です。

■ Microsoft 社 MS-IME98



■ ジャストシステム社 ATOK11



変換操作

【Windows】

MS-IME 2000 の基本的な操作を示す (詳しくは《ヘルプ》を参照されたい)。

■□■ 入力 / 変換済み文字がない状態 ■□■	
MS-IME 2000 のオン/オフ	半角/全角
ショートカット メニューの表示	Ctrl + F10
ヘルプの表示	Ctrl + F10 を押し、H を押す ([ヘルプ] をクリックする)
入力モードの切り替え	Ctrl + F10 を押し、N を押す ([入力モード] をクリックする)
変換モードの切り替え	Ctrl + F10 を押し、C を押す ([変換モード] をクリックする)
IME パッドの起動	Ctrl + F10 を押し、P を押す ([IME パッド] をクリックする)
[単語/用例の登録] ダイアログ ボックスの表示	Ctrl + F10 を押し、W を押す ([単語/用例登録] をクリックする)
[Microsoft IME 2000 のプロパティ] ダイアログ ボックスの表示	Ctrl + F10 を押し、R を押す ([プロパティ] をクリックする)
全角/半角スペースの入力	Space / Shift + Space (ひらがな、全角カタカナ、全角英数モード) Shift + Space / Space (半角カタカナ、半角英数モード)
全角スペースの入力	Ctrl + Shift + Space
確定取り消し (確定アンドゥ)	Ctrl + BackSpace
再変換	変換、vf・3
全角英数、半角英数モードへの切り替え	Shift + 無変換
ひらがな、カタカナ モードへの切り替え	無変換
英数、かなモードへの切り替え	英数
ローマ字入力とかな入力の切り替え	Alt + ひらがな


■□■ 入力文字のみの状態 ■□■				
MS-IME 2000 のオン/オフ	半角/全角			
全文字消去	Esc	Shift + Esc	Ctrl + Z	
全確定	Ctrl + Enter	Enter	Ctrl + M	
1 文字確定	Shift + ↓			
1 文字削除	Del	Ctrl + G		
前文字削除	BackSpace	Ctrl + H	Ctrl + BackSpace	Shift + BackSpace
全変換	Space	Shift + Space	変換	
文字カーソルを先頭に移動	Home Ctrl + E	↑ Ctrl + ↑	Ctrl + ←	Ctrl + A
文字カーソルを末尾に移動	End Ctrl + X	↓ Ctrl + ↓	Ctrl + →	Ctrl + N
文字カーソルを左に移動	←	Shift + ←	Ctrl + S	Ctrl + K
文字カーソルを右に移動	→	Shift + →	Ctrl + L	Ctrl + D
半角スペースの入力	Ctrl + Space			
全角スペースの入力	Ctrl + Shift + Space			
部首変換	F5	Ctrl + Y		
ひらがな変換	F6	Ctrl + U		
全角カタカナ変換	F7	Ctrl + I		
半角変換	F8	Ctrl + O		
全角英数変換	F9	Ctrl + P		
半角英数変換	F10	Ctrl + T		
かな切り替え	無変換			
英数切り替え	Shift + 無変換			
英数、かなモードへの切り替え	英数			

■□■ 変換済みの状態 ■□■				
MS-IME 2000 のオン/オフ	半角/全角			
文節文字戻し	Esc Ctrl + Z	BackSpace Ctrl + H	Ctrl + BackSpace	Shift + BackSpace
全文字戻し	Shift + Esc			
前候補を表示	Shift + Space Ctrl + E	↑ Ctrl + ↑	Shift + 変換	
次候補を表示	Space	変換	↓	Ctrl + X
文節カーソルを先頭に移動	Ctrl + ←	Home	Ctrl + A	
文節カーソルを末尾に移動	Ctrl + →	End	Ctrl + F	
文節カーソルを左に移動	←	Ctrl + S		
文節カーソルを右に移動	→	Ctrl + D		
注目文節の末尾を 1 文字縮める	Shift + ←	Ctrl + K		
注目文節の末尾を 1 文字伸ばす	Shift + →	Ctrl + L		
先頭文節確定	Shift + ↓			
注目文節確定	Ctrl + ↓	Ctrl + N		
全確定	Ctrl + Enter	Enter	Ctrl + M	
半角スペースの入力	Ctrl + Space			
全角スペースの入力	Ctrl + Shift + Space			
部首変換	F5	Ctrl + Y		
ひらがな変換	F6	Ctrl + U		
全角カタカナ変換	F7	Ctrl + I		
半角変換	F8	Ctrl + O		
全角英数変換	F9	Ctrl + P		
半角英数変換	F10	Ctrl + T		
かな切り替え	無変換			
英数切り替え	Shift + 無変換			
英数、かなモードへの切替え	英数			

Mule での仮名漢字変換

【UNIX】

Mule での仮名漢字変換の ON/OFF は、以下の操作によって行う。

Ctrl+

演習

Mule で以下の文書を打ち込んで印刷せよ（英単語は半角文字で）。

ここではっきりと断言しておくが、C 言語に限らず、プログラミング言語は独学可能である。著者自身、“The C Programming Language”の著者である Kernighan 氏と Ritchie 氏に私淑（直接教わるのではなく、書籍などを通じて教わること）したわけであり、C 言語に関して直接指導を受けたことはない。

また、ある基本書を選んだ段階で、その後の学習により到達するレベル（の上限）が決定されることに留意していただきたい。

■引用 ■柴田望洋 “Dr. 望洋のプログラミング道場”， p.64， ソフトバンク， 1993